

# 英語の綴りのルール

大名 力(著) A5判 並製 156頁 予価1,980円(本体1,800円+税10%) ISBN978-4-327-40175-7 C3082 NDC:831

8月18日  
配本予定

## 複雑精妙な英語の綴りのルールを徹底解説

2014年刊行の『英語の文字・綴り・発音のしくみ』の綴りについての解説をバージョンアップ、各項目(全部で80項目)1ページ単位を基本に構成して、次のような問題に解説を加えました——apple/æpl/はなぜaplでなくappleと綴るのか。win /wɪn/にeを付けwineとすると発音がなぜ/waɪn/になるのか。warmがウォームでwormがワームなのはなぜか。lの数がtillとuntilで違うのはなぜか。

英語の綴りのルールについてきちんと学びたい人のために書かれた本格的な参考書です。

(著者紹介/著者による他の著作等)

大名 力(おおな つとむ)

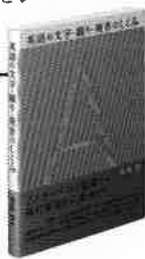
名古屋大学大学院人文学研究科教授。1989年、東京学芸大学修士課程修了(教育学修士)。群馬大学教養部、社会情報学部講師、名古屋大学国際開発研究科助教授、教授を経て、現職。専門は言語学・英語学。著書・論文に「言語研究のための正規表現によるコーパス検索」(単著、ひつじ書房、2012年)、「コーパス研究と学習英文法」(大津由紀雄(編著)『学習英文法を見直したい』、研究社、2012年)、「英語の文字・綴り・発音のしくみ」(単著、研究社、2014年)、「英語の文字」「英語の発音と綴りの関係」(酒井英樹・滝沢雄一・亘理陽一(編著)『小学校で英語を教えるためのミニマム・エッセンシャルズ——小学校外国語科内容論』、三省堂、2017年)、などがある。

好評既刊

## 英語の文字・綴り・発音のしくみ

大名 力(著)

A5判 並製 266頁 定価3,080円(本体2,800円+税10%) ISBN978-4-327-40164-1 C3082 アルファベットの起源から現代英語の正書法まで



目次より(抜粋)

- 英語の歴史
- アルファベットの歴史と名称
- 文字の数と大文字と小文字
- 母音字と子音字
- 文字の名称と音価
- 発音と文字・綴りとのずれ
- 強勢の有無と母音字の音価
- 強勢節における長音と短音の対立
- 母音字で始まる接辞の付加と重子音字の使用
- 黙字の母音字 e
- 音節主音の子音 /l, m, n/
- 長音標識の黙字の母音字 e (マジック e)
- c の発音: 軟音 ç /s/ と硬音 c /k/
- g の発音: 軟音 ġ /dʒ/ と硬音 ġ /g/
- x の3つの音価: x̣ /ks/, x̄ /gz/, x̄ /z/
- 語末の単子音字と重子音字
- i, u が使えない位置: 語末/母音字間
- v と黙字の e
- 第2長音 ä, ë, î, ò, ü /a:, e:, i:, o:, u:/
- ラテン語由来の前置詞の発音
- 弱母音: 強勢のない音節に現れる母音
- c, s, z, t, d の口蓋音化 (/ʃ, ʒ, tʃ, dʒ/)
- 黙字の子音字
- 動詞の過去形・過去分詞の接辞 /t, d, ɪd/ の綴り
- 末尾の /s, z/ が接辞ではなく語幹の一部であることを示す方法
- 黙字の e の様々な用法

全80項目

コラム: 短音と長音の発音が大きく異なるのはなぜ?

(類書)

- 大名力『英語の文字・綴り・発音のしくみ』(研究社、2014)
- 竹林滋『新装版 英語のフォニックス』(研究社、2019)

新刊 申込書	<h2>英語の綴りのルール</h2>	申込数		書店名(印)
	予価1,980円(本体1,800円+税10%) ISBN978-4-327-40175-7 C3082	冊		
既刊 申込書	<h2>英語の文字・綴り・発音のしくみ</h2>	申込数		書店名(印)
	定価3,080円(本体2,800円+税10%) ISBN978-4-327-40164-1 C3082	冊		
お名前 _____		ご住所 〒 _____		
TEL _____		21.06		